脱炭素ポイントを貯めるには

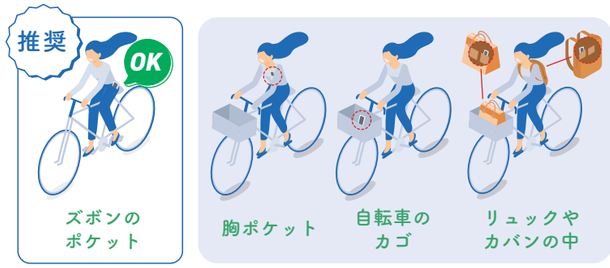
(ver 1.2)

01　歩数のカウント

≫ 徒歩　自転車　どちらも、歩数のカウントが必要です

徒歩

自転車　この場合の歩数とは「自転車を漕ぐ足の動作」を指します



※「胸ポケット」「自転車のカゴ」「リュックやカバンの中」に入れた状態での移動の計測が以前よりも改善しています。ただし、依然として「ズボンのポケット」に入れていただく方がより効果的です

NG
- 自転車のカゴにスマホを入れて、自転車を押して歩く
- ベビーカーにスマホの入ったバッグを入れて歩く

NG
- ストラップやスマホポシェットに入れて、首から下げている

02　位置情報を常に許可

≫ 画面下部に「位置情報メッセージ」が出ている方は、位置情報を「常に許可」に設定してください

【iPhone】ご使用の場合

スマホの設定 →「SPOBY」→「位置情報」→「常に許可」
→「正確な位置情報」を ON

【Android】ご使用の場合

スマホの設定 →「位置情報」→「SPOBY」→「権限」
→「位置情報」→「常に許可」

お使いのスマホ自体の位置情報の設定は ON になっていますか？

スマホのシステム設定の「プライバシーとセキュリティ」から、位置情報サービスを ON にご設定ください
（お使いのスマホによって設定項目の名称が異なります）

なぜ位置情報が必要なのか？

SPOBY は、出発地点・到達地点の位置情報を得ることで実際の移動方法を判別し、駅やバス停の有無から代替した乗り物を想定して脱炭素量を導き出しています

03　地図上の直線距離で 750m 以上の移動

直線距離 750m を超えた「到達地点」まで「歩行」や「自転車」で移動をすることで、本来乗り物で移動した分の CO2 排出を抑制したとみなし、「脱炭素ポイント」が貯まります

脱炭素ポイントがつかない例

- 家の周辺を回って歩いた距離 1km
  ↳ この場合、「移動」ではなく「散歩」とみなされます
- 直線距離 750m 以上の移動の際に、途中で 5 分以上の滞在（休憩）をした
  ↳ 途中で休憩など数分の滞在をした際は移動データが途切れ、正しく判定されない場合があります
- 自転車で時速 23km 以上の速度で走行した
  ↳ 時速が速すぎると自動車等の乗り物とみなされます

Check!　脱炭素ポイント獲得には …

【iPhone】【Android】共通

TOP画面の人物の前に青色矢印が出ていたら下にスワイプして、ポイントを獲得する

行動履歴の計算に時間がかかるため、定期的にアプリを開いて更新をしてください

【Android】ご使用の場合

マルチタスク画面から（アプリ切り替え画面）削除せず、バックグラウンドで起動したままにする

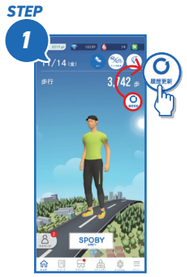
※イメージ

【Android】ご使用の場合

スマートフォンの通知パネルに出現する「SPOBY 移動情報を計測中です」の通知が常に表示されていることを確認する

更新されない場合は、以下の手動更新をお試しください

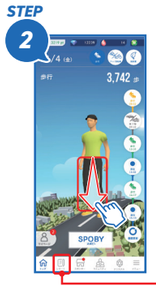
STEP 1



TOP 画面の「履歴更新」をタップ

一定時間が経つと計算が始まります

STEP 2



人物の前に出ている青色矢印を下にスワイプする

レコードタブを開くと日付ごとに歩数や距離等が更新できているか確認できます

【上記を試しても、更新（行動履歴の計算）が行われない場合】　※Android のみ
スマホの設定　→「SPOBY」→「アプリのバッテリー使用量」→「制限なし」に設定

※詳しくは別紙参照